

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2009-527357(P2009-527357A)

【公表日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-556439(P2008-556439)

【国際特許分類】

B 05 D	5/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 D	5/02	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)
C 09 D	129/04	(2006.01)
C 09 D	139/06	(2006.01)
C 09 D	133/02	(2006.01)
C 09 D	133/06	(2006.01)
C 09 D	175/04	(2006.01)
C 09 D	5/14	(2006.01)
C 09 D	5/16	(2006.01)
A 01 N	33/12	(2006.01)
A 01 P	3/00	(2006.01)

【F I】

B 05 D	5/00	Z
C 09 D	201/00	
C 09 D	5/02	
C 09 D	7/12	
C 09 D	129/04	
C 09 D	139/06	
C 09 D	133/02	
C 09 D	133/06	
C 09 D	175/04	
C 09 D	5/14	
C 09 D	5/16	
A 01 N	33/12	1 0 1
A 01 P	3/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月23日(2010.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ある場所における微生物の制御を提供する方法であって、

- a) i) 水溶性または水分散性フィルム形成剤；
- ii) 少なくとも1つの抗菌剤；および
- iii) 不活性溶媒；

を含む除去可能な液体コーティング組成物を提供するステップ；

b) その場所に上記組成物を塗布し、それによってコーティングを形成するステップ；および、

c) 15 ~ 100 の温度で水溶液により上記コーティングを除去するステップ、を含む方法。

【請求項2】

液体コーティング組成物の表面張力が40mN/m未満である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

フィルム形成剤がポリビニルアルコールおよびその共重合体、ポリビニルピロリドン、ポリアクリル酸、アクリレート共重合体、イオン性炭化水素重合体およびポリウレタンまたはそれらの組合せのうちの1つまたはそれ以上のものであり、そして該フィルム形成剤が4,000~186,000の分子量を有する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

場所が、アルミニウム、鋼、ステンレス鋼、クロム、チタン、鉄、合金およびその混合物からなる群から選択された1つまたはそれ以上の金属、またはポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンを含めたポリオレフィン；ポリメタクリレート、ポリメチルメタクリレート、ポリアクリロニトリル、ポリブタジエン、ABS、ポリアクリロニトリルブタジエン；ポリエチレンテレフタレートを含めたポリエステル；およびナイロンを含めたポリアミド；およびそれらの組合せからなる群から選択された1つまたはそれ以上のプラスチック材料、またはレンガ、タイル、セラミック、磁器、木材、ビニル、リノリウム、カーペット、紙、皮革、それらの組合せからなる群から選択された材料を含む、請求項1~3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

水溶液が本質的に水；水と酸；または水と塩基；または水と洗浄剤からなる、請求項1~4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】

液体コーティング組成物が、可塑剤、界面活性剤、架橋剤、着色剤、可溶化剤、レオロジー改良剤、酸化防止剤、pH調整剤、湿潤剤、消泡剤、增量剤、潤滑剤、加工助剤、耐変色剤、およびフィルム性能増強物質または1つまたはそれ以上の酵素のうちの1つまたはそれ以上のものをさらに含む、請求項1~5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

コーティングが、汚染された表面に塗布された場合に少なくとも3-ログの微生物の削減を提供し、そしてここでコーティングが、0.3ミクロン~300ミクロンの厚みを有する、請求項1~6のいずれかに記載の方法。

【請求項8】

- i) 水溶性または水分散性フィルム形成剤；
- ii) 少なくとも1つまたはそれ以上の抗菌剤、
- iii) 不活性溶媒；および

iv) 場合により、可塑剤、界面活性剤、架橋剤、着色剤、可溶化剤、レオロジー改良剤、酸化防止剤、pH調整剤、湿潤剤、消泡剤、增量剤、潤滑剤、加工助剤、耐変色剤、フィルム性能増強物質または酵素のうちの1つまたはそれ以上を含む除去可能な食品加工運転停止時用スプレー組成物であって、該組成物は、耐久性でかつ15を超える水溶液処理に付された場合に除去可能である、上記組成物。

【請求項9】

組成物が、20~50mN/mの表面張力を提供し、そしてオルガノシリコーンである界面活性剤を組成物の0.01wt%~1.0wt%の濃度で含み、そして組成物が、汚染された食品加工表面に適用された場合に少なくとも3-ログの微生物の削減を提供する、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

フィルム形成剤が、ポリビニルピロリドン、ポリアクリル酸、アクリレート共重合体、イオン性炭化水素重合体、およびポリウレタンまたはその組み合わせを含む1つまたはそれ以上のポリビニルアルコールまたはその共重合体であり、そしてここで少なくとも1つの抗菌剤が、抗細菌剤、殺真菌剤、静真菌剤、殺カビ剤、防カビ剤、防腐剤、消毒剤、サンタイマー、殺菌剤、殺藻剤、または防汚剤である、請求項8または9に記載の組成物。